

令和 8 年度第 1 回産業医科大学病院医療安全監査委員会

改正医療法施行規則に基づき医療安全管理体制整備の確認のため、令和 8 年 7 月 3 日に令和 8 年度第 1 回産業医科大学病院医療安全監査委員会を実施した。今回の監査は事前に通知した下記の項目に沿って監査を行った。監査結果について以下に講評する。

日時：令和 8 年 7 月 3 日（金） 13:55～15:20

場所：産業医科大学病院 本館 3 階 中会議室

【監査委員】

委員長：横山 晋二	久留米大学病院 副病院長/医療安全管理部長
委員：大杉 一之	北九州市立大学 法学部 准教授
柴田 美雅	産業医科大学病院 産業医臨床研修等指導教員（診療教授）
早川 晴美	久留米大学病院 医療安全管理者
樋口 恭子	久留米大学病院 医薬品安全管理責任者

【産業医科大学病院出席者】

矢寺 和博	副院長/医療安全管理責任者
原 幸治	医療の質・安全管理部長
原田 大史	医療の質・安全管理部副部長
今村 正代	医療安全管理者
一木 孝治	医薬品安全管理責任者
高橋 一久	医療機器安全管理責任者
豊嶋 健輔	医療の質・安全管理部/専従薬剤師
岩佐 英明	医療の質・安全管理部/専従看護主任
白山 寿賀子	医療の質・安全管理部/専従理学療法士
木戸 敦子	医療安全課長
江口 圭大	医療安全課 医療安全係長
松岡 実優	医療安全課 主任

【監査事項】

1. 重大事象 A 類型・B 類型の取り組み
 - 1) 職員への周知方法
 - 2) 医療安全委員会が事象を把握する仕組みづくり
(例：報告書式の改訂、部門との連携、能動的モニタリングなど)
2. 医療事故が疑われる事例発生時の管理者による判断の結果と理由の記載例
3. 循環作動薬(ノルアドレナリン等)の希釈の標準化

【講評】

1. 重大事象 A 類型・B 類型の取り組みについて

今年度の医療安全対策マニュアル改訂時期(9月)に合わせて、A 類型、B 類型、C 類型に該当する事象を整理し、併せて、インシデントレポートシステムを改修したことを確認した。職員への周知方法として、セーフティーマネージャー連絡会議(毎月開催)や医療安全職員全体研修会(年3回)での周知を予定しており、研修受講後の理解度確認テストの実施が予定されている。

医療の質・安全管理委員会が重大事象を把握する仕組みについては、新たなシステムは導入せず、従来運用しているインシデントレポートシステム、手術部門システムを用いている。重大事象は、医療の質・安全管理部定例会議(毎週開催)で事例の内容を確認後、類型事象に応じた会議体で、原因分析を行い、再発防止策を策定する安全管理体制の構築に取り組んでいることを確認した。一方で、医療安全対策マニュアル改訂時期との兼ね合いはあるが、医療法施行規則は4月より施行されており、速やかに職員への周知を図り、組織として遅滞なく対応することを通じて医療水準の維持・向上を図ることを期待する。

2. 医療事故が疑われる事例発生時の管理者による判断の結果と理由の記載例について

全死亡・死産症例について、医療事故調査制度該当チェックシートに則り、該当事例をスクリーニングしている。医療事故が疑われる事例が発生した際は、医療事故調査制度該当判断会議を開催する。その検討結果をもとに医療事故調査制度の該当性に関する病院管理者の判断と理由を明文化している。

該当性判断のスクリーニングにおいて、入院時診断名・入院目的と死因との関係を確認するために、医療事故調査制度該当チェックシートへ「入院時診断名」「入院目的」を追加することを推奨する。また、職員がいつでも医療事故調査制度の定義や趣旨を確認できるように、医療安全対策マニュアルにその内容を掲載することを推奨する。

3. 循環作動薬（ノルアドレナリン等）の希釈の標準化について

ICU や救急・集中治療科における循環作動薬の投与に際しては、基本組成表や投与計算早見表が運用されており、これら資料の作成における薬剤師の積極的な関与を確認した。また、転棟時には組成間違いによるインシデントを防止するため、受け入れ部署では患者の使用薬剤を一覧で把握できる専用シートの活用や循環作動薬については当該部署で通常使用している組成に変更するなどの工夫が行われている。結果として誤った希釈方法に起因するインシデントは発生していない。

一方で、今後は手術室における循環作動薬の使用状況を把握することが望まれる。また、現在活用されている手書きの専用シートについては、転記ミスを誘発しない運用方法の検討など、引き続き安全性向上に向けた取り組みの継続を期待する。

以 上

令和 8 年 7 月 17 日

産業医科大学病院医療安全監査委員会

委員長 横山 晋二 

(久留米大学病院医療安全管理部長)